



西村さん

光原さん

光原楔子さん (内牧2区)

西村英里さん (元黒川)

今月はご自分で子育てサロンを立ち上げ、困っているお母さんを手助けしたいと活動している光原さんと西村さんをご紹介します。

「上の5歳と3歳の2人が男の子で、家の中ばかりで遊んでも限界がきます。困って私もついイライラしていましたね。こと子育て支援センターをよく利用している光原さん。光原さんは昨年11月に3人目のお子さんを出産。毎日育児に励む日々が続いています。センターへ初めて来たの

は、スタッフの誘いから。一日中子どもと過ごす気の抜けない日々の中で、子育てが楽しいなんてすっかり忘れていた自分。「最初は一回のぞいてみようくらいの気持ちでしたが、行ってみると、子どもは一生懸命友達と遊び、私は来たてのお母さんたちと気軽に会話。楽しくて本当に来てよかったと思いました。センターでしっかりと遊ぶと子どもは、たっぷりお昼寝してくれ、その間に、私も家事を済ませることが出来ます」と、子どもはしっかりと遊ばせることが大事で、親は先輩ママやママ友達から経験談や子育ての知恵を聞き、自分の育児にゆとりを持つことが大事であることを話されます。

また、ここへ来て子育ての楽しさを知ったという西村さんは4歳と1歳のママ。「ママ友達ができ情報交換することで、子育ては今しかならない貴重な時間なんだ、子どもの成長が見れるのはすばらしいことなんだと気付かされました。市外から来たお嫁さんとか、特に友だちづくりの場に最適だと思います」と、子育てするお母さん自身が明るい気持ちでないとよい子育て



光原さんたち子育てサークルの皆さんが企画し開催した「親と子のHAPPY DAY」(12/14)の様子

につながらないことを強調されます。そんな2人は、やる気があって、子育て支援センター土曜版みたいなサロンを開設。光原さんは内牧に親子サロン「Sai」を1年半前にオープン。また西村さんは、「サロンみち草」を8ヶ月前に元黒川の阿蘇測量設計内に開き、若いお母さんたちの集いの場を設けています。「ご主人が土曜も仕事という家庭が多く、センターが休みの日は困るというお母さんたちのニーズ

おりた鍼灸院

Tel 32-1589 (予約制) 阿蘇市内牧(成川)

はり・温灸針・小児針

阿蘇市交付の施設利用券を取り扱っております

肩・腰・膝の痛み、その他慢性病等お気軽にご相談下さい。

により開設。最近はお母さんたちのリフレッシュも必要だと考え、美容や趣味についても企画しているところ。しかし今みんなが一番困っているのは、自分が病気の時の子どもを預ける人がいないこと。そのことにも取り組んでいきたいと思っています」と光原さん。同じく「赤ちゃんからお年寄りまで集える交流サロンです。友だちの家へ遊びに行く感じで気軽にお越しください。一緒に子育てを楽しみましょう！」と、西村さん。どちらも楽しそうです

親子サロンSai

開いている時間

月2回土曜

10時～14時30分

(休みの場合がありませんのでお問い合わせください)

場所

内牧、彦しゃんラー
メン横

問い合わせ先

光原 ☎321-0357

※2月は6日・20日に開いています。

ね。2人のおかげで、阿蘇市に親子の笑顔が一つ、また一つ増えていきそうです



子育て支援センターにはALTによる英語にふれる催しもあるよ！

サロンみち草

開いている時間

月に1～2回土曜

11時～15時

場所

元黒川の阿蘇測量設計内
西村

問い合わせ先

☎09057273507

※2月は13日に開いています。

まちの話題

宝くじ助成事業で阿蘇市の4保育園幼年消防クラブ(内牧・乙姫・黒川・山田保育園)に鼓笛セットを寄贈

財団法人日本防火協会から宝くじ助成金を受けて、阿蘇地域幼少年婦人防火委員会(松永宣男会長)が、阿蘇市の4保育園幼年消防クラブに鼓笛セットを寄贈しました。

各幼年消防クラブは、結成以来、幼年消防大会で遊戯を披露したり、また、通常点検や腕用ポンプ操法を行うなど、年間を通して様々な防火活動に取り組んでいます。

この助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として、幼年消防クラブの育成強化を図るための助成を行い、災害に強い安全な地域づくりを推進するとともに、幼児期からの火遊び防止に役立っています。



宝くじ助成事業で煙体験ハウスをいただきました

財団法人日本防火協会から宝くじ助成金を受けて、阿蘇地域幼少年婦人防火委員会へ煙体験ハウスをいただきました。煙体験ハウスは建物火災現場での煙の恐ろしさを実際に体験していただくものです。早速、地域の避難訓練等で防火意識普及のために使用しています。

この、助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、財団法人日本防火協会が、防火委員会に対し、防火思想の普及啓発及び民間防火組織等の育成を目的として行っているものです。

なお、この煙体験ハウスは、多くの方に体験いただきたいことから、各区、及び事業所等の訓練でもご使用いただけます。希望される場合は、阿蘇広域消防本部 ☎34-0024までお問い合わせください。

